

北日本漁業経済学会 ニュースレター

北日本漁業経済学会第47回大会報告 及び第48回・仙台大会案内

北日本漁業経済学会第47回大会報告については、1月に出す予定のNLがだせなかったため、大会の概要のみ後段に掲載します。第48回大会については下記のとおり開催しますので、多数のご参加をお願い致します。

北日本漁業経済学会第48回大会・仙台大会

シンポジウム；新漁業法はスタートできるのか？

新漁業法の施行をめぐる問題点と課題

主催：北日本漁業経済学会

後援：宮城県漁業協同組合連合会・生活協同組合あいコープみやぎ（予定）

と き：2019年10月25日（金）10:30-17:00

ところ：東北大学農学部・青葉山コモンズ 第1講義室（仙台市）

交通：仙台駅より地下鉄東西線・八木山公園行きに乗車、青葉山駅下車（仙台駅から約9分）

主催者挨拶：北日本漁業経済学会会長 10:30-11:00

来賓挨拶：宮城県漁業協同組合連合会会長（予定）

コーディネーター：加瀬和俊（帝京大学）・片山知史（東北大学）・二平 章（茨城大学）

●基調報告

「新漁業法」の施行と今後の課題

11:00-11:45

加瀬和俊（帝京大学）

●個別報告 座長：二平 章（茨城大学）

1. 「新漁業法」における資源管理政策の問題点は何か 片山知史（東北大学） 13:00-13:30
2. 「新漁業法」条文から見て今後の漁協、漁業権はどうなるか 13:30-14:00
田中克哲（全国漁業協同組合学校）
3. 「新漁業法」施行で自治体と漁協にどのような課題が生じるか 14:00-14:30
上田克之（水産北海道協会）
4. 「新漁業法」施行に対し県条例制定で沿岸漁業を守れるか 14:30-15:00
佐藤力生（三重県鳥羽磯部漁協）

●コメント： 座長：片山知史（東北大学）

1. 鈴木正男（千葉県沿岸小型漁業協同組合組合長）： 15:10-15:25
沿岸漁民は「新漁業法」を是認していない
 2. 田口さつき（農林中金研究所研究員）： 15:25-15:40
米国マグナソン・スティーブンス法の資源管理と沿岸漁業への配慮
 3. 澤藤大河（弁護士）：新漁業法の施行と地方自治法 15:40-15:55
- パネル討論： 16:00-17:00

司会：加瀬和俊（帝京大学）

パネラー：片山知史（東北大学）・田中克哲（全国漁業協同組合学校）

上田克之（水産北海道協会）・佐藤力生（三重県鳥羽磯部漁協）

鈴木正男（千葉県沿岸小型漁業協同組合）・

田口さつき（農林中金研究所）・澤藤大河（弁護士）

●参加者交流会 17:15-19:00

ところ：東北大学青葉山コモンズ（生協食堂） 参加費：3000円

シンポジウムの開催趣旨：

新漁業法が2018年12月に成立して以降、2年以内の施行に向けて、関係法規の作成作業が進められています。漁協とその組合員に向かっては「沿岸漁業者に不利になるような政省令にはしない」と言い、規制緩和勢力に向かっては「要望された事項はすべて取り入れます」と言ってきた水産庁は、どのようにその内容を定めようとしているのでしょうか。

一方、漁場利用秩序の解体、企業本位の漁場利用方式の徹底を目指している第二次高木委員会はこの5月に新たな提言を発表し、漁業権制度を廃止してすべての漁業経営体を経営者免許の対象とすること、沿岸漁船漁業の小型船にもオブザーバーを載せること、養殖業にもITQ制度を徹底させること、資源問題・水産経営問題を担当する研究機関の管轄を水産庁から内閣府に移管させることなど、その主張をますます極端なものとして、政省令制定過程への圧力を強めています。

こうした状況の下で私たちは、今一度、新漁業法の条文に戻ってその根拠、意図している内容、予想される結果等について吟味するとともに、あるべき対抗策について討議し合う機会を持つこととしました。今改めてこの問題を論じる以上、その内容は法成立以前と同じではなく、現場の実情を念頭においた、より実践的な討議となるでしょうし、それを通じて水産庁の新漁業法施行に向けた作業にも漁村の現場の実情を対置して机上の空論を許さない力となり得ることを期待しています。

以上のような判断にたつて、今年度の大会シンポジウムは「新漁業法はスタートできるのか」をテーマに掲げて、改めて多面的に新漁業法下で想定される資源・漁場利用に関わる諸論点を議論することとします。

大会案内<https://sites.google.com/view/kitanihon2019>

アクセス<http://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/access/amap/index.html>

<一般報告・総会>

時 間；2019年10月26日（土） 9：30～（予定）

場 所；東北大学・青葉山コモンズ（教室及びプログラムは直前案内号でお知らせします）

<シンポ報告者と一般報告申し込み者の報告要旨提出締め切り>

シンポジウムの報告者と一般報告を申し込む方は、**9月30日まで**に事務局（miyazawa@fish.hokudai.ac.jp）宛、メール添付でお送りください。

<理事会の開催について>

10月24日（木）、18時より、東北大学・青葉山コモンズにて理事会を開催します（会場については後日連絡）。理事・監事の方はご参加ください。また、欠席の場合はご一報ください。

第47回・札幌大会報告

第47回大会は下記のように実施いたしました。

理事会；2018年11月8日（木）、18時～（かでの2・7）

11月9日（金） 13：00～17：00 会場；ホテル札幌ガーデンパレス

北日本漁業経済学会創立50周年記念講演会「北日本漁業の歩みと展望」

特別講演

1. 成長戦略政策の検証

佐野雅昭（鹿児島大学・教授）

2. 水産資源の出口管理強化の問題点

片山知史（東北大学大学院・教授）

話題提供

・北日本漁業経済学会 50年の歩みと課題

宮澤晴彦（北海道大学大学院・教授）

<北海道漁業50年と今日的課題>

- ・幡宮輝雄 北海道水産林務部長
- ・佐藤忠則 北海道漁業協同組合連合会・副会長
- ・大口圭一 北海道信用漁業協同組合連合会・副会長
- ・津田 要 北海道漁業共済組合・専務理事
- ・柳川延之 北海道機船漁業協同組合連合会・専務理事
- ・木村 稔 北海道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場・副場長

北日本漁業経済学会創立50周年記念レセプション

時 間；17：00～19：00

会 場；ホテル札幌ガーデンパレス 2階 白鳥の間

参加費；無料

11月10日（土） 9：30～12：10 会場；かでの2・7

【一般報告】

1. 秋田県沿岸域の季節ハタハタ減少 中村彰男（秋田県栽培漁業協会）
2. 山口県における浜プラン立案に係る「支店別会議」の現状と課題 甫喜本憲（水産大学校）
3. 岡山県瀬戸内邑久町のカキ類養殖業における労働力確保策の実態
乾直志（徳島県農林水産部）・佐々木貴文（鹿児島大学）
4. 海水温の変化と定置網漁獲物構成の変化についての一考察 富塚叙（北海道大学大学院）
5. 大西洋サケの太平洋への逸出と太平洋サケの大西洋への侵入による脅威
清水幾太郎（水産機構・北水研）
6. IWC（国際捕鯨委員会）第67回総会での議論の動向 谷川尚哉（中央学院大学）

総 会

12：10～13：00